

# Principal Correspondence



## 人生の目標をさがしていこう

数年前、キャノン電子の社長さんに聞いた話です。大学世界ランキング「ナンバー1」のハーバード大学で能力が同じくらいの学生を対象に30年後まで追跡した実験調査がありました。

- ①卒業して、私は「こういうことをしたい」という目標を持つ人100名。
  - ②とりあえず社会に出て会社に入り、流れで能力を発揮したいという人100名。
- アメリカらしいプラグマティックな研究ですが、結果は！
- ①の目標を明確に持っていたグループの99人が成功しており
  - ②の目標が定まらなかったグループで成功していた人は2人だけでした。

この研究結果は、人は「何をやりたいか」という目標を持って生きることが、とても重要であることを表しています。

目標を持つ人は、それが好きで、仕事での苦勞も苦勞と思わず、失敗しても何度でも挑戦し、自分の可能性のために働くから、結果、成功するのでしょうか。しかし「やりたいことがわからない」という人が多くいることも確かです(かなり多くの人は自分探しの旅を続けるものです)。

◎まず、「やりたいことを自分の得意なこと」の中で探してみましょう。得意なことは、好きなことより現実的に職業に結び付きやすい。

◎自分の個人の楽しみだけを追わず、視野を広げて「社会のために」「人類のために役立つこと」を考えてみることも大切です。

卒業する皆さん！これからそれを探す旅が始まります。大学を選ぶ頃までに一回目標を立てられると良いと思います。やりたいことは人生の途中で変わるかもしれません。それは全く問題ありません。

いくつになっても勉強をし直してよいのです。人生は死ぬまでチャレンジ。

世の中には70歳から英語を勉強して塾を開いたおばあさんもいます。

チャレンジする人は多分「自己肯定感」が高い人だと思います。すぐに困難にぶつかってあきらめるのではなく「努力を続ければ何とか必ず道は開ける」と信じている人です\*。

「自己肯定感」は幼少期からの小さな成功を積み重ねることで醸成されるといわれます。

がんばって「やったー！」という経験を積み重ね、周りから認められる体験が大事です。

学校生活では比較的、体育的活動が自己肯定感を高めるのに良い活動といわれています。

もちろん演劇も！今年度当校が感染予防に知恵を絞り、コロナ禍にあっても、運動会、マラソン大会、ドッジボール大会、クリスマスも省かず実施してきたのは、そのためでもあります。

\* 卒業する皆さん！リリーベールは皆さんの心の故郷です。

ここで体験して学んだことは、

必ず次のステージで生きてきます。がんばれ卒業生！世界は君を待っている。

卒業・進級おめでとう！

# Principal Correspondence

## 新しい出会いに向かって

春は別れと出会いの季節です。皆さんにとってリリーの学童クラブとはどのような場所だったのでしょうか？

❁学童とは、学年を超えて子どもたちが集まる類まれなる場所です。

縦割りの社会の中で高学年はリーダーシップ性を養い、頼られる存在であるという意識を持ち、低学年はそんな高学年の姿に憧れて刺激を受ける場所です。

❁多重知能を伸ばし、将来の才能のきっかけを作る事に力を入れています。

もちろん宿題のサポートとともに、生活習慣や時間のメリハリの徹底、加えて、日々の活動や自由遊びの中で、子どもたちの「感覚的な部分に刺激を与えて多重知能を伸ばす事にも力を入れています。

❁個人の自由な発想を大事にし、やり抜くことに重きをおいています。

人間性知能では個人の自由な発想を大事にし、やり抜くことに重きをおいています。

❁情緒面の成長を促しています。

友達と一緒に考えながら協力し合って生まれる発想を活かし、子どもたちに成功する喜び、失敗する悔しさといった情緒面の成長を促しています。

リリーの学童クラブは、学童職員だけではなく！

園では園の先生方が、リリーバール小学校では小学校の先生方が、学童での成長を見守り、いつも気にかけてくれていました。それは子どもたちにとって安心できる環境でもあったことでしょう。

リリー全体であたたかく包み込むような生活と指導をし、新しい可能性を探し発見を喜ぶ、リリーの「育脳学童」とはそういった意味を持っているのです。

さて、これでお別れする皆さん！育脳学童クラブは楽しかったですか？

私たちは、皆さんの人生の成長の一コマにかかわれたこと、成長の一助になれたことをうれしく思います。卒業してもたまには顔を見せてください。

夢を叶える人生を送られんことを祈ります。新しい出会いに向かって Let, s go!

